



三星の風

鹿児島県立鹿屋高等学校
平成27年11月5日号

鹿屋高校だより



三星祭（文化祭・体育祭）レポート



体育祭は、リレーや綱引き、縄跳び、百足競争など、多彩な種目に熱戦が繰り広げられました。最後まで、勝利をあきらめず戦った3年生の逆転勝利。多くの保護者や地域の皆様の応援に深く感謝いたします。



文化祭は学級劇を中心に、生徒弁論、ダンス部や書道部、演劇部、吹奏楽部によるパフォーマンスを披露。本校の力を結集し、テーマ「感孚風動」（人を感動させる力）の具現化に努めた充実の二日間となりました。

決意も新たに センター試験出願式



9月25日（金）にセンター試験出願式が行われました。学級の代表が達磨に目を書き入れ、代表の決意表明の後、応援団長によるエール。1月に行われる大学入試センター試験に向けての覚悟がいよいよ定まりました。

鹿屋高校「芸術の秋」入賞者紹介



秋を迎え、美術や書道の展覧会が開催されています。第52回大隅地区高校美術展では2年の大窪寿志君の洋画「想い」（左）が準大賞を受賞。書道部門でも、2年の亀甲有沙さん（中央）と永野颯さん（右）が第46回県高等学校書道展において高文連賞を受賞しました。

鹿屋高校「スポーツの秋」選手権者紹介



カヌー九州高等学校新人大会の500ccカヤックシングルで2年の前田将宏君が昨年度に引き続き、優勝を果たしました。陸上競技においても、県高校新人大会で男子100mで2年の末廣徹也君が11秒00、女子400mで1年の曾田陽菜子さんが1分0秒01の好タイムで、1位を獲得。その他にも15名の選手が九州大会へ出場を果たしました。さらに大隅湖で開催されていた県高校新人ボート大会でも、ダブルスカルとかじ付き4人スカルにおいて1位を獲得。文武両道に励む三星健児の勇姿が示されました。

芸術鑑賞会 笑顔あふれる学校寄席



10月28日（水）芸術鑑賞会を実施。今年は「学校寄席」。世界最高の話芸「落語」を堪能させていただきました。とりは鹿屋市出身の桂竹丸師匠による人情噺の新作落語。舞台と客席とのコミュニケーションでつくりあげられる「笑い」の芸が披露されました。